

タンパク質とアミノ酸

食べたタンパク質の行き先は？

1年「生物基礎（2単位）」03

（ ）組（ ）番

氏名（ ）

授業の前提 次の「大前提」を確認する。

- (1) 生物は、細胞でできている。細胞は栄養分や酸素を取り込んで活動している。
- (2) 食べたタンパク質は、消化されて（分解されて）アミノ酸になり、体内に吸収される。

次の「前提」を確認する。

- (3) 細胞は、細胞に含まれるさまざまなタンパク質が動くことで、活動している。
- (4) タンパク質には、さまざまな種類があり、それぞれ独自の形をして、独自のはたらき（動き方）をしている。

授業の目標 1. 次のことを知る。

達成したら
文右端□に



- (1) タンパク質は20種類のアミノ酸がたくさん（平均・数百個）つながってできている。□
 - (2) 細胞内で20種類のアミノ酸を結合させて、タンパク質をつくっている。□
〔参考〕ヒトの体を構成するタンパク質は、数万種類もある（もっとあるとも言われている）。
〔予告〕どのように20種類のアミノ酸をつなぐのかについては、これからの授業で学びます。
 - (3) タンパク質をつくる材料のアミノ酸は、食べたタンパク質を消化したアミノ酸である。□
2. 下の課題に取り組み、上の前提の文（4つ）と目標1.の文（3つ）の内容を、つながりのあるストーリー（話）にする。

課題

上の授業の前提・授業の目標、参考として教科書p.20、24、62-63を読み、

食べたタンパク質が、どのような過程を経て、細胞ではたらくタンパク質になるのか について、説明するための図を、下の空所に作成し、他の人（相談等をしなかった3人以上）に説明しなさい。